

(図書館について)

北九州市公共施設マネジメント実行計画

平成28年2月

北九州市

3-4 図書館

(1) 施設の現況

・施設の配置状況

図書館延床面積：271 百㎡（21 施設-183 万冊蔵書）

※ 中央図書館、平成 29 年度に供用開始を予定している小倉南図書館を含む地区図書館（6）、分館（11）、国際友好記念図書館、視聴覚センター、旧戸畑図書館

・利用状況

年間貸出冊数：385 万冊、利用者あたりコスト 311 円/人

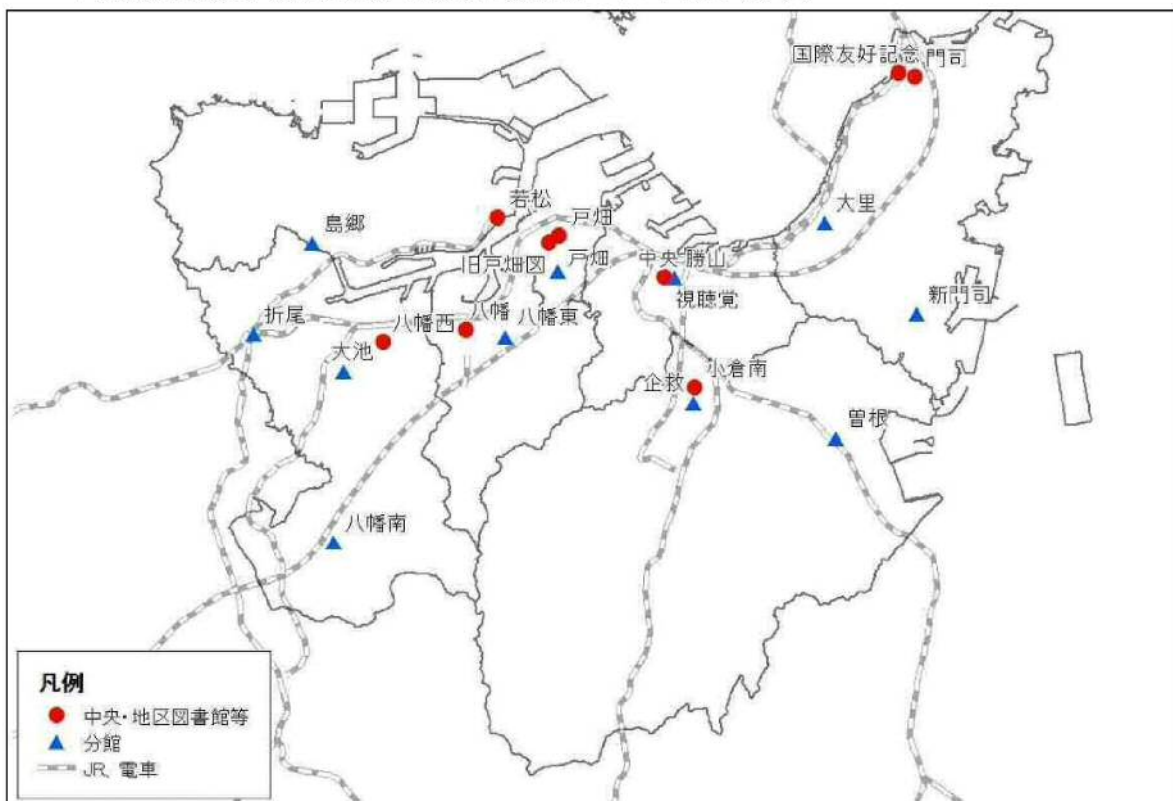


図 3-4-1 図書館の配置状況

(2) 現状の課題

本市には中央図書館と地区図書館があり、分館を合わせると 21 の図書館が設置されており、他都市と比較して、施設数が多くなっています。

※ 地区図書館には小倉南図書館(H29)を含む

(3) 図書館のマネジメントの考え方

中央図書館を中核拠点施設とし、地区図書館を地域拠点施設とした図書館サービス体制に移行し、分館については、大規模区役所出張所周辺の施設を存続することとし、それ以外の分館については、地区図書館等の整備状況や人口動態、利用実態等の推移

をみながら縮減していくこととします。

なお、市民に望まれる図書館サービスの充実については、現在、図書館協議会に諮問している「これからの図書館サービスのあり方」についての答申などを踏まえ、検討することとしています。

更新の際には出来るだけ複合化を図り、閲覧室の適正規模確保に努めます。

(4) 図書館のマネジメント計画

門司図書館、国際友好記念図書館は門司港地域の複合公共施設に集約します。

また、折尾分館は折尾地区総合整備事業で解体されることから JR 折尾駅周辺などへの移転を検討します。

なお、企救分館は廃止し、八幡東分館、戸畑分館は廃止を検討します。

表 3-4-1 個別施設のマネジメント計画

施設名	1期 H28～H37	2期 H38～H47	3期 H48～H57	4期 H58～H67	以降	将来の施設
国際友好記念図書館	● (H30年代前半)集約 ↓					観光施設
門司図書館	● (H30年代前半)集約 ↓ ● (H30年代前半)新設	門司港地域複合公共施設			更新	門司港地域複合公共施設
大里分館						大里分館
新門司分館						新門司分館
中央図書館 勝山分館 視聴覚センター	● (H27～)子ども図書館のあり方検討	↑ (H46)60年目			更新	中央図書館 子ども図書館
小倉南図書館	● (H29年度)新設				更新	小倉南図書館
企救分館	● (H29年度)廃止					
曾根分館						曾根分館
若松図書館					更新	若松図書館
島郷分館						島郷分館
八幡図書館	● (H28年度)移転				更新	八幡図書館
八幡東分館	● 廃止検討					

八幡西図書館					更新	八幡西図書館
折尾分館	→● JR折尾駅周辺などに移転					折尾分館
八幡南分館				↑ (H50)60年目		八幡南分館
大池分館(廃止済)						
戸畑図書館					更新	戸畑図書館
戸畑分館	→● 廃止検討					
旧戸畑図書館(廃止済)						

(5) マネジメントの結果

今後、マネジメント計画に沿って、公共施設のマネジメントの取組みを進める場合、40年後の施設量として、延床面積は約10%削減されます。

・施設の削減等の計画

【存続する施設（建物）】（15施設）

中央図書館、地区図書館（門司、小倉南、若松、八幡、八幡西、戸畑）

拠点地域に配置されている分館

新門司分館（門司区） 大里分館（門司区）

勝山分館・視聴覚センター（小倉北区）

曾根分館（小倉南区） 島郷分館（若松区） 折尾分館（八幡西区）

八幡南分館（八幡西区）

【廃止する施設・廃止を検討する施設】（6施設） ※廃止済

国際友好記念図書館（門司区） 企救分館（小倉南区） 八幡東分館（八幡東区）

戸畑分館（戸畑区）（※ 大池分館（八幡西区）・旧戸畑図書館（戸畑区）は廃止済）

「折尾駅高架下利用アンケート調査」の結果について

1 アンケートの目的

折尾地区総合整備事業の進捗に伴い、鉄道の高架下には、新たなオープンスペース（JR所有地）が生まれ、貴重な都市空間としての有効活用が期待される。

この高架下空間は、地元の関心も高いことから、今後のまちづくりに資するため、ご意見ご要望について、アンケート調査を実施したものを。

2 実施期間・対象者・回答数

- ・実施期間：平成30年6月20日～9月10日（約3ヶ月）
- ・対象者：学生、住民、商業者、まちづくり団体、折尾駅周辺の来訪者等
- ・回答数：1,632人

3 アンケート項目

- ◇高架下にあるとよいと思う施設（選択制）
- ◇高架下の活用策について（自由意見）

4 アンケート結果（概要）

（1）高架下にあると良いと思う施設について（選択制）

- ◇複数回答による施設
 - ① 喫茶店・カフェ ② 飲食店・レストラン ③ スーパーマーケット
- ◇1番目と2番目にあると良いと思う施設
 - ① スーパーマーケット ② 喫茶店・カフェ ③ 飲食店・レストラン
- ◇公共的な施設（1番目と2番目にあると良いと思う施設）
 - ① 駐車場 ② 図書館 ③ 交流施設・自習室
- ◇年代別の特徴（1番目と2番目にあると良いと思う施設）
 - ・10～20代 ① 喫茶店・カフェ
 - ・30代以上 ① スーパーマーケット

（2）高架下の活用策について（自由意見）

- ・人が集まる施設や多世代交流に関する意見 38件
- ・買い物に関する意見 24件
- ・休憩施設に関する意見 12件
- ・駐車場に関する意見 4件
- ・その他意見
[治安や防犯、バリアフリーのまちづくり、交通対策 など]

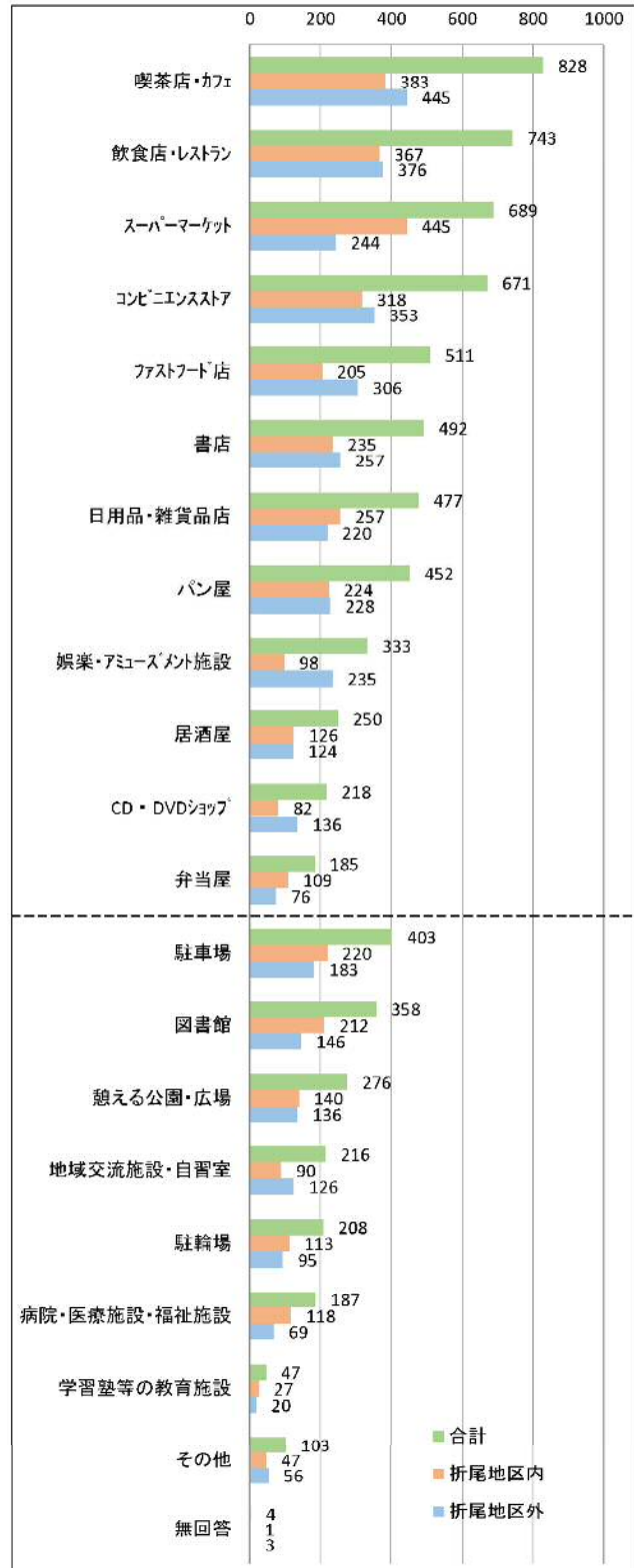
折尾駅高架下利用アンケート調査 調査結果

- ◆調査期間：平成30年6月20日～9月10日
- ◆対象者：学生、住民、商業者、まちづくり団体、折尾駅周辺の来訪者等
- ◆回答者数：1,632人

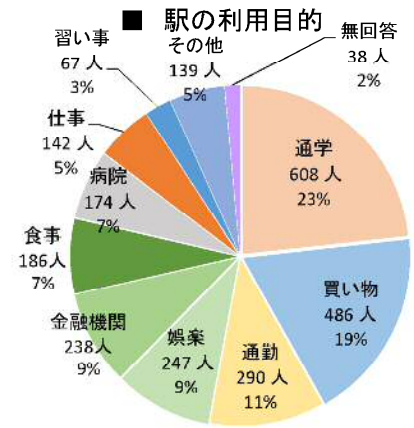
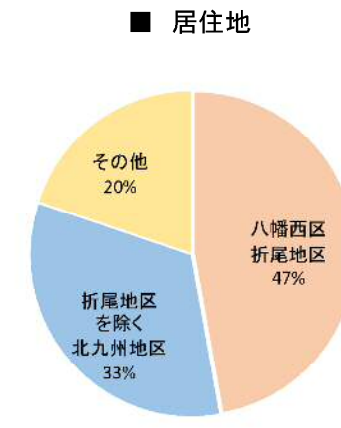
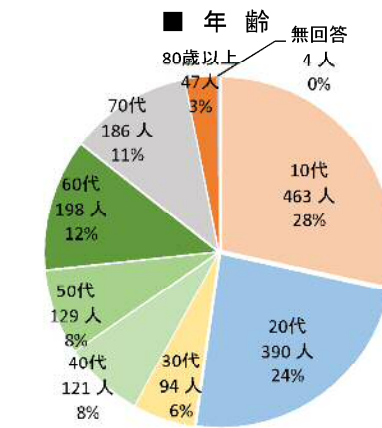
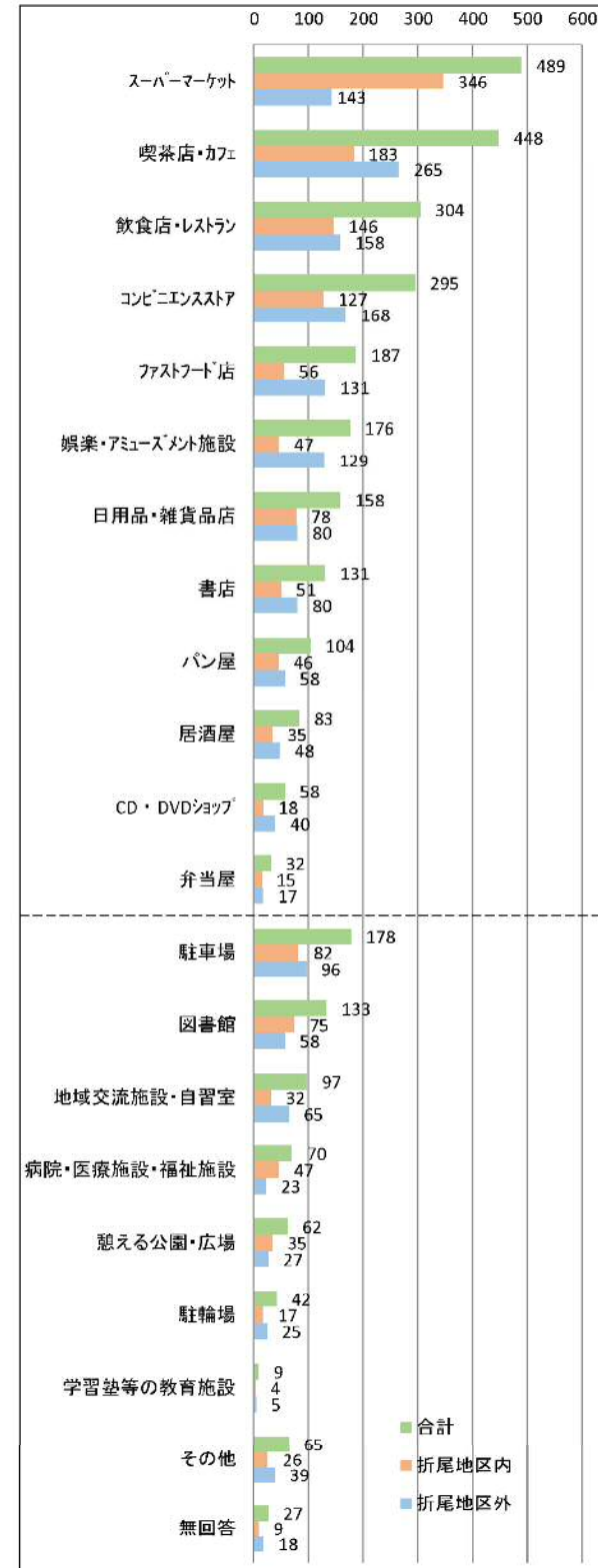
◆アンケート結果

【Q1】高架下にあると思う施設(選択制)

(1) あると思う施設(複数回答ありの場合)



(2)1番目・2番目にあると思う施設



(3)年代別にみた高架下にあると思う施設(1番目・2番目にあると思う施設)

年代別順位	年代別				
	10～20代	30～40代	50～60代	70代以上	全世代
1	喫茶店・カフェ(325)	スーパーマーケット(107)	スーパーマーケット(154)	スーパーマーケット(132)	スーパーマーケット(489)
2	コンビニエンスストア(179)	コンビニエンスストア(52)	駐車場(68)	駐車場(37)	喫茶店・カフェ(448)
3	飲食店・レストラン(174)	喫茶店・カフェ(50)	飲食店・レストラン(63)	病院・医療施設・福祉施設(36)	飲食店・レストラン(304)
4	娯楽・アミューズメント施設(165)	駐車場(27)	喫茶店・カフェ(48)	飲食店・レストラン(35)	コンビニエンスストア(295)
5	ファストフード店(162)	日用品・雑貨店(22)	コンビニエンスストア(46)	図書館(33)	ファストフード店(187)

(4)個別意見(主なもの)

- ・屋内運動施設(スポーツジム/フィットネスクラブ/プール等)(19)
- ・ATM/銀行(10)
- ・衣料品店(9)
- ・役所出張所(6)
- ・多目的ホール(5)
- ・待合室(4)
- ・地元農産物等の直売所(3)
- ・郵便局(3)

【Q2】高架下の活用策について(自由意見・主なもの)

- 〈人が集まる施設や多世代交流に関する意見(38)〉
 - ・人が集まる施設がほしい
 - ・若者と高齢者が集い、交流できる場所がほしい
 - ・地域の人憩えていつでも行ける場所がほしい
 - ・若者が楽しく集まれる場所づくりをしてほしい
- 〈買い物に関する意見(24)〉
 - ・近場で買い物が出来ずとても困っている、買い物の不便を解消してほしい
- 〈休憩施設に関する意見(12)〉
 - ・少しお茶を飲んだり、休憩をするような所がないのが不便
- 〈駐車場に関する意見(4)〉
 - ・駐車場は必ずつくってほしい
- 〈その他意見(治安防犯、バリアフリーなど)(29)〉
 - ・夜間でも明るく、防犯に力を入れた高架下にしてほしい
 - ・車が混雑しないように整備してほしい
 - ・落ち着いた、清潔で明るい雰囲気にしてほしい
 - ・オリオンプラザのような施設が欲しい
 - ・高齢者、障害者にやさしいバリアフリーのまちづくり

門司港地域複合公共施設整備事業 基本計画【概要版】

【北九州市公共施設マネジメント実行計画 門司港地域モデルプロジェクト再配置計画】

1. 事業の目的・概要

老朽化が進み近い将来建替えが必要な公共施設を門司港駅付近に集約し、複合化・多機能化することで、施設整備費、維持管理費、運営費を削減する。また、利便性の向上及び市民サービスの効率化を図るとともに、市民利用施設や図書館の公共施設を活かし、地域の活性化に寄与する。

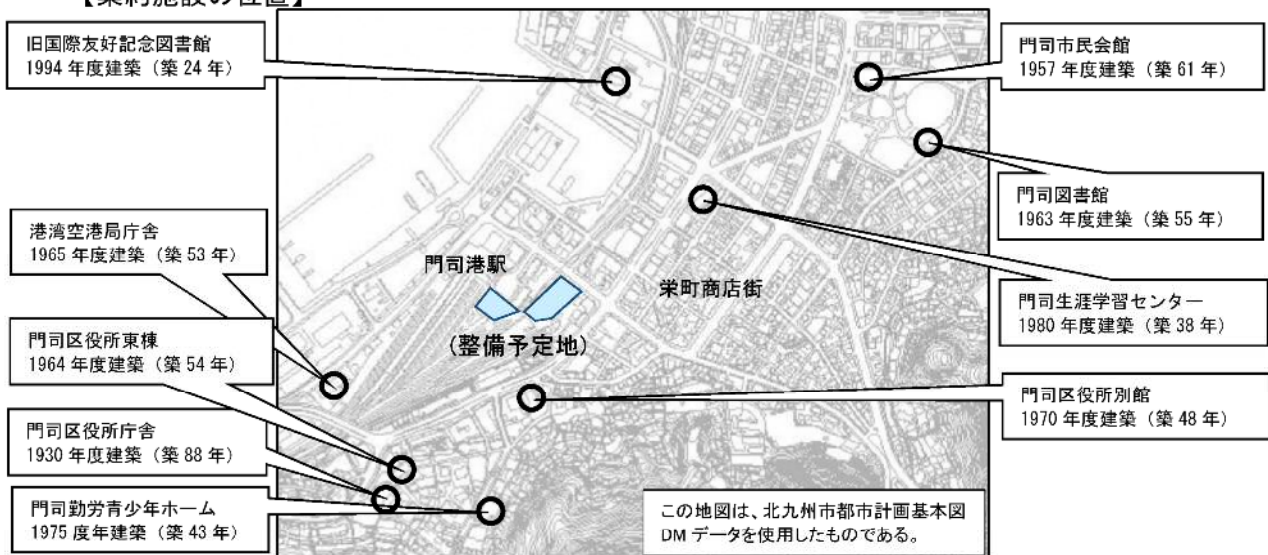
- ・交通利便性の高い門司港駅付近に公共施設を集約することで、区内各地からのアクセス利便性を高める。
- ・ホールや会議室、図書館等の文化施設を一体的に整備することで、より活発な活動を支える環境づくりを進めるとともに、周辺地域の活性化や賑わいの創出を図る。
- ・移転跡地を地域に応じた利用に転換することで、地域の魅力を高める。

【事業概要】

- 事業名 : 門司港地域複合公共施設整備事業
- 事業期間 : 平成 31 年度～
- 事業箇所 : 北九州市門司区清滝 2 丁目
- 概算事業費 : 約 77.1 億円

2. モデルプロジェクト再配置計画（門司港地域）

【集約施設の位置】



【公共施設集約化の対象施設と延床面積の変化】

現況施設		現状		計画	
市民 利用施設	門司市民会館	3,700 m ²	8,500 m ²	3,600 m ²	・多目的ホール ・座席数見直(800→500) ・会議室機能の見直し
	門司生涯学習センター	3,000 m ²			
	門司勤労青少年ホーム	1,800 m ²			
図書館	門司図書館	1,000 m ²	1,800 m ²	1,600 m ²	・2施設を1施設
	旧国際友好記念図書館*	800 m ²			
庁舎	門司区役所	7,100 m ²	10,600 m ²	8,800 m ²	・会議室等の共用利用
	港湾空港局庁舎	3,500 m ²			
計		20,900 m ²		14,000 m ²	
その他施設：有料駐車場 (340 台)、利便施設 (200 m ²)					

※ 旧国際友好記念図書館（現大連友好記念館）は平成 30 年 3 月 31 日閉館

【対象施設の現状】

施設名・建築年度(延床面積)	現状・課題
市民利用施設	
門司市民会館 ・1957年(3,700㎡)	<ul style="list-style-type: none"> ○耐震基準を満たしていない ○建物が古く、設備の劣化が進んでいる ○バリアフリー対応が十分でない ○座席間のピッチが狭く、2階席の座席・階段の勾配が急 ○稼働率が低い(利用は主に土日のみ) ○付属駐車場が狭い
門司生涯学習センター ・1980年(3,000㎡)	<ul style="list-style-type: none"> ○会議室や和室など類似した役割を持つ部屋が複数ある ○いずれの部屋も稼働率が低い ○付属駐車場が狭い
門司勤労青少年ホーム ・1975年(1,800㎡)	<ul style="list-style-type: none"> ○会議室や和室など類似した役割を持つ部屋が複数ある ○いずれの部屋も稼働率が低い ○平成31年度末廃止予定
図書館	
門司図書館 ・1963年(1,000㎡)	<ul style="list-style-type: none"> ○フロアが3階に分かれており使い難い ○付属駐車場が狭い
旧国際友好記念図書館 ・1994年(800㎡)	<ul style="list-style-type: none"> ○観光施設・交流拠点(大連友好記念館)として活用 ○図書館は平成29年度末閉館
庁舎	
門司区役所 ・1930年(5,750㎡)	<ul style="list-style-type: none"> ・区役所本館 ・(国)登録有形文化財(建造物)
門司区役所東棟 ・1964年(500㎡)	<ul style="list-style-type: none"> ・保護課、消費生活センターが使用
門司区役所別館 ・1970年(850㎡)	<ul style="list-style-type: none"> ・保健福祉業務の一部で使用 ・1階は錦町市民センター、2階は区役所別館、上層階は住宅(UR)の複合建築物
港湾空港局庁舎 ・1965年(3,500㎡)	<ul style="list-style-type: none"> ○耐震基準を満たしていない ○築後50年経過し、今後修繕コストが増大

3. 整備予定箇所

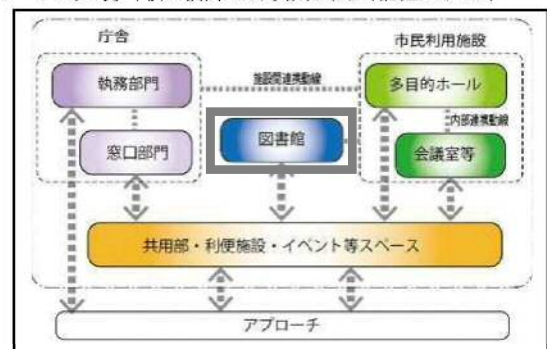


複合公共施設整備予定箇所



複合公共施設イメージ図

イメージは参考。今後の検討により変更となる可能性があります



施設の構成と利用者の主動線(案)

建物上の配置構成を直接示すものではありません
内部連携動線、施設間連携動線は、機能間の連携
や運営上の連携動線

4. 複合公共施設の整備基本方針と整備計画

【基本方針】

門司港レトロの玄関口に誇れる「みんなの施設」

目標1：市民が誇りを持って利用し、育てていく施設づくり (機能、運営システム、連携のモデル)

- ・施設や機能の複合化が、新たな文化的価値を生み出すきっかけとなり、市民活動の豊かさの向上に寄与していくこと
- ・市民利用施設、図書館、行政機能が連携していく可能性を示していくこと

目標2：市民も観光客も立ち寄りたくなる施設づくり (周辺環境、景観等のモデル)

- ・市民の日常動線と観光客等の回遊動線が交差する場所に位置する立地特性に照らして、複合公共施設整備の効果を周辺に波及させ、新たな流れを誘導していくこと

目標3：これからの公共施設が備えるべき性能・設備を先取りした施設づくり (建物の性能、ライフサイクル等のモデル)

- ・公共施設マネジメントのモデルプロジェクトとして環境、防災、ユニバーサルデザイン、維持管理コストなど複合公共施設が将来にわたって良好なレベルで使い続けることができるよう、先導的な取り組みを行っていくこと

【配慮事項】

魅力ある賑わいの創出

- ◎ 生活における交流【日常】
 - ・地域拠点の充実
 - ・商店街や周辺施設とのサービスを含めた連携
 - ・多様な世代が集い、出会い、交流する場の形成
 - ・交通結節機能の充実、強化による公共交通利便性の向上
- ◎ 観光による集客【非日常】
 - ・広域観光拠点の形成
 - ・門司港レトロとの連携
 - ・回遊動線の確保、向上
 - ・交流人口の増加

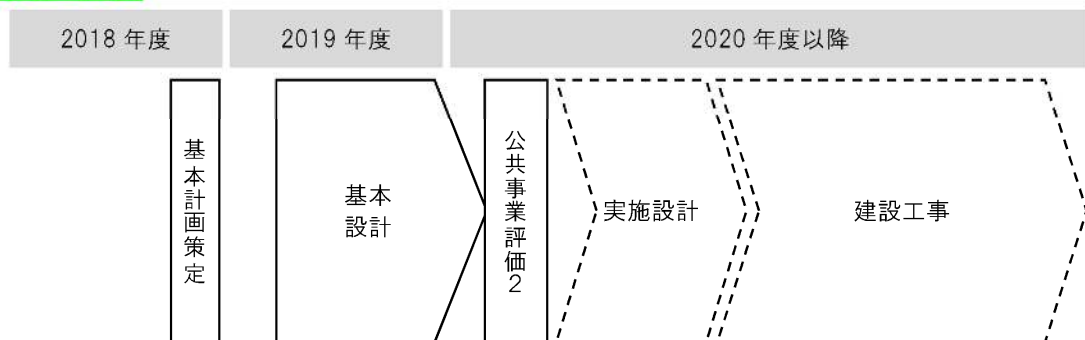
持続可能な施設の構築

- ◎ 環境負荷低減
 - ・CASBEE 北九州
- ◎ 景観、デザイン
 - ・景観重点整備地区に相応しい風格と落ち着きあるデザイン
 - ・夜景景観への配慮
 - ・周辺景観・施設との調和
- ◎ 将来への対応
 - ・財政負担の軽減
 - ・コンパクトシティの実現
 - ・将来需要の変化に対する柔軟性の確保
 - ・潜在需要への対応

基本的な性能の確保

- ◎ 安全、安心、快適【平時】
 - ・ユニバーサルデザイン
 - ・バリアフリー
 - ・無駄のない空間構成
 - ・使いやすい、利用者目線の施設
 - ・利便性が高く、機能的なサービスの提供
 - ・効率的な執務空間
- ◎ 防災拠点【非常時】
 - ・基本性能の確保
 - ・災害時における対応
 - ・事業継続

6. スケジュール



5. 各施設の整備基本方針及び整備内容

門司港地域複合公共施設(公共施設: 14, 000㎡、利便施設200㎡)

市民利用施設(3, 600㎡)

多目的ホール(1, 700㎡)

- ◇ 市民・団体の活動拠点として、地域拠点施設に位置づけ、施設規模に応じて地域の文化行事や個人の演奏会などに使用
- ◇ ホールは、舞台設備等を備えた文化ホール仕様
- ◇ 座席を可動式の多目的ホールとすることで、会議、文化活動、スポーツ等にも活用

【整備内容】

- ・座席数:500 席程度
- ・可動式座席を採用したアリーナ兼用
- ・楽屋は、小会議室(会議室、和室)を兼用
- ・災害時等における柔軟な利用・運用への対応

会議室(1, 900㎡)

- ◇ 特定の目的に縛られず、幅広い多くの市民が活用する施設
- ◇ 大会議室と複数の小会議室を設置し、会議室には可動壁を採用する等、多様な活動への対応を図る
- ◇ 図書館での様々な活動など、複合化による多様な可能性を活かすことができる施設運営をはかる

【整備内容】

- ・大会議室/100~300 人規模の講演会用(面積規模:300 ㎡)
- ・小会議室/50~80 ㎡程度の会議室を7室確保(会議室2室、和室2室、調理室1室、美術工芸室1室、音楽室1室、各室は多目的な利用に対応)
- ・災害時における柔軟な利用、運用への対応

図書館(1, 600㎡)

- ◇ 地区図書館として、区民を中心とした貸出・予約・読書案内・簡易なレファレンスなどのサービスや図書の充実を図る
- ◇ 国際交流に関する図書、地域特性に関連する図書、情報の充実を図る
- ◇ 静かに本を読める空間と、図書館の利用者が集える空間を確保

【整備内容】

- ・わかりやすいサービスカウンターの設置
- ・読み聞かせコーナー、読書室、読書会などに柔軟に対応できるプラン
- ・適切な蔵書能力を持つ書庫の設置、一般蔵書、テーマ別蔵書、特集コーナーなどを効率的、柔軟に対応できる配架システム
- ・静かに読書できるスペースやリフレッシュコーナーの設置、通信環境(WiFi 等)の完備

庁舎(8, 800㎡(区役所 6, 800㎡、港湾庁舎 2, 000㎡))

- ◇ まちづくりの推進や地域コミュニティ活動への支援、保健福祉や子育てに関する相談、災害時の防災拠点など、住民に身近で多様な役割を果たす
- ◇ 来庁者の利便性に配慮し、窓口ワンストップサービスなど効率的、効果的な市民サービスの提供
- ◇ 港湾空港行政の役割を果たす
- ◇ 会議室を相互利用するなど、複合化のメリットを活かした運営を図る

【整備内容】

- ・わかりやすい窓口案内を可能とするエントランス、待合スペースの確保
- ・区役所手続きのワンストップサービスの実施
- ・市民ニーズや区役所業務の変化に対応できる、柔軟性のある空間計画
- ・防災拠点としての強度・性能の確保
- ・庁舎内における積極的な機能の兼用化

利便施設(200㎡)

- ◇ 施設利用者の利便性を向上、また、公共交通利用者や観光客などが気軽に立ち寄れる施設

付属駐車場(約340台)

- ◇ 施設利用者や公用車のほか、観光客など地域の駐車需要や交通乗継にも対応できる立体駐車場として整備
- ◇ 駅前広場に隣接した敷地に独立した立体駐車場として配置
- ◇ 門司港駅に隣接した位置にあるなどの立地状況を踏まえ、景観・デザインを重要な要素として検討

【整備内容】

- ・駅前広場歩道横断の安全性確保に留意
- ・景観・デザインへの配慮
- ・庁舎までの動線に屋根を設置するなど良好なアクセス確保への配慮